



令和6年度 保護者アンケート(年間)

■前回と同じく学校教育全般に対し、保護者の皆様から御意見や御感想をいただきたく「保護者アンケート」を実施いたしました。

今後も、皆様の声を参考に教育活動の一層の充実を目指してまいります。御協力ありがとうございました。

※数値は、「そう思う」「まあまあそう思う」の割合となっております。

○90ポイント以上の項目がほとんどですが、12月の回答では、90ポイントを下回っている項目が4項目あり、次年度に向けて課題を検討し、新たに計画を作成しているところです。今後も、更に「見付けたい」「かかわりたい」「挑戦したい」高台っ子を目指し、実現に取り組みます。

○記述欄にも、たくさんの御意見や御感想をいただきました。記述でいただいた内容についても、検討、改善を加え、次年度の計画に反映させていきます。すぐに効果が表れず、継続して取組を進めていく必要のあるものもあります。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

項目	保護者の皆様へのアンケート内容	7月	12月	
全体	1 子供は、楽しく学校に通っている。	95.2	93.8	
見付ける	2 学校は、児童一人一人に基礎学力を付ける指導に努めている(TT・少人数指導、宿題・家庭学習、生活リズムの改善、朝学タイム、「ちょこっと」など)。	95.8	95.6	
	3 学校は、児童が必要な情報や課題を見付けながら、主体的に学習を進められるような授業づくりに努めている。	93.7	94.1	
	4 学校は、児童一人一人がよく考え、考えたことを発表などの授業づくりに努めている(めあてやまとめの明示、ノート指導、学習の作法(規律)の定着など)。	93.8	92.6	
	5 学校は、児童が自らの学習状況を確認する場面を設けるとともに、学習成果をまとめ表現する活動の工夫に努めている。(授業における学習のまとめや振り返りの活動の実施)	95.4	93.9	
かかわる	6 学校は、知識や技能を活用して自ら考え、自分を高めようとする力や仲間意識を高める指導に努めている(挨拶、行事や児童会、高台っ子のやくそくなど)。	95.2	94.8	
	7 学校は、よいことは褒め、よくないことは厳しく指導することで、児童が責任をもって行動することができるよう努めている。	90.2	89.7	
挑戦する	8 学校は、自他のよさを感じながら、自分の目標の達成に向けて粘り強く取り組む指導に努めている。	90.9	89.6	
健康・安全	9 学校は、運動能力や健康意識を高める指導に努めている(なわとび・持久走、食育・アレルギー対策など)。	96.0	92.7	
	10 学校は、安全対策や危険を避ける力の育成に努めている(登下校の安全確保、地域・PTAと連携した見守り、交通安全わかば教室など)。	97.5	98.0	
道徳教育	11 学校は、道徳の授業や全教育活動を通して、豊かな心の育成に努めている(考え、議論する授業づくりや道徳ノートの活用、読書活動など)。	95.9	95.2	
外国語教育	12 学校は、外国語による聞くこと、話すこと、(読むこと、書くこと)などの学習活動を通して、コミュニケーションを図る素地(基礎)の育成に努めている。 ※()内は、5・6年生の場合	96.6	98.4	
総合的な学習の時間	13 学校は、問題の解決や探究活動の過程において、他者と協働して主体的に取り組む学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動の工夫に努めている。	97.1	95.5	
いじめ・不登校対策	14 学校は、いじめや不登校、トラブルの未然防止・早期発見と解決に努めている(学校いじめ防止基本方針、いじめアンケート、教育相談など)。	86.5	86.0	
個に応じた指導	15 学校は、児童の特性に対応し、児童がもてる力を発揮できるよう努めている(その子に必要な教育や個別の支援計画など)。	89.0	85.2	
	16 学校は、児童の興味・関心に応じた教材・教具を工夫するなど、学習に集中しやすい環境づくりに努めている(授業におけるICTの活用など)。	96.2	95.4	
家庭との連携	17 学校は、情報発信や連絡を密に取るなど、家庭との連携に努めている(学校・学年・学級通信、家庭学習の手引き、ホームページなど)。	91.7	94.1	
新しい生活様式	学びの保障	18 学校は、感染症対策を意識しながら、学び合いの実現に努めている(家庭学習の効果的な活用、授業におけるICTの活用など)。	95.8	92.4
	心のケア	19 学校は、児童の心身の健康状況を把握し、不安やストレスを抱える児童に対し、支援に努めている(スクールカウンセラー等による教育相談およびカウンセリングの実施、養護教諭との連携など)。	93.0	92.6
	感染防止対策	20 学校は、感染リスクを回避するために、学校内の環境づくりに努めている(換気の徹底、共用箇所の消毒、施設や設備の安全・衛生面での改善など)。	96.7	92.6
その他	働き方改革	21 学校は、児童と向き合う時間を確保するために、校務の効率化に努めていることを理解している。(ICTの効果的な活用、SSSの活用、Googleフォームによる欠席確認、学校メールを利用した連絡など)	97.8	99.0
	チームによる学年・学級経営	22 学年で工夫しながら教科担任制(教科乗り入れ・専科指導など)や学年合同の授業を行うことにより、複数の目で児童を育てることで、教育的効果を高めている。	99.6	99.5